

石川県の次世代産業に関する取組み

石川から世界に素材革命を！



自動車、飛行機から



大幅な用途の拡大
(鉄道、船舶、建築材料等)



※Boeing向け
プリプレグ出荷開始

H25.12

いしかわ
炭素繊維
クラスター
構想開始
H21.8

東レ石川工場

炭素繊維複合材料の
生産拠点に決定・稼働

H19.11、H21.7

[資金]
次世代ファンド
(県)の創設
H22.7

炭素繊維の研究
開発を支援
基金規模130億円

[研究施設]
工業試験場に
次世代センター
を設置

文科省の拠点
整備事業に採択
国費約10億円



[人材の集積]
文科省
地域イノベーション
事業の採択
H24.6

文科省の人材集積
事業に採択
5年総額国費6億円



研究者招へい

コーディネーター配置

「革新的イノベーション創出プログラム」に採択

H25.10 9年総額国費約80億円
→施設費とあわせ国費約100億円

学:金工大、金大、北陸先端大等

官:石川県、工業試験場、ISICO等

産:東レ、コマツ産機、大和ハウス工業等

サテライト:岡山大学、NIMS・京都大学・土木研



[実用化施設]
金沢工大に
革新複合材料
研究開発センター
を設置

H25.3
文科省の拠点
整備事業に採択
国費約20億円
H26.6竣工



東レより統括コーディネータを招へい

一村産業グループ

使用部材

CF-SS



バス等に使用される炭素繊維シート^①の量産技術の開発

経産省サポイン事業に採択(H23~H25:3年1億円)

コマツ



炭素繊維の板状の素材をプレス加工する機械の開発

文科省A-STEP事業に採択(H24~H27:4年5千万円)

小松精練



炭素繊維

耐震補強用建築材料(筋かい)の量産技術の開発

経産省イノベーション拠点立地推進事業に採択(H24:1年6千5百万円)

繊維産業の集積 機械産業の集積

地方の成長シーズに光をあて、国と地方が大きく連携！ 地域活性化のみならず、我が国の国際競争力強化へ

地域の成長戦略に関する意見交換会

- ◆ 国内外から人材、資金、企業、技術が集まる好循環を呼び、世界に冠たるクラスターを形成
 (例) 北陸東海に、炭素繊維複合材料の一大生産・加工地域
 (東海・北陸コンポジットエリア)を形成

<現在>
 北陸の炭素繊維複合材料が東海で加工され、航空機の主翼や尾翼、胴体になるという流れ

<将来>
 川中、川下との連携を深め、流れを太くし、国内外に製品を送り出す複合材料の一大生産・加工地域を形成

(参考)
 ・川上のシェアは日本が高い(約7割)が、川中・川下は欧米に遅れ
 ・ドイツは、国と地方が連携し、自動車、飛行機、風車等あらゆる分野を視野に入れた川上～川下までの大連携(100社以上)が存在



北陸の特徴

- ◆ 川中繊維産業の集積
 - ー 全国平均約2倍の事業所数
- ◆ 加工技術の高い企業の集積
 - ー グローバルニッチトップ 企業数第4位(石川)
- 【人材】一線級の研究者招へい
- 【資金】地域独自の大規模基金等で研究開発を支援
- 【施設】公設試に先端施設整備



(6月24日地域活性化の推進に関する関係閣僚会合)